

【2025 年度/専門科目領域/専門基礎科目群/基礎医学系】

科目名	ナンバリング	区分 (必修・選択)	単位数	履修年次	開講学期等
解剖学Ⅱ		(リ) 必修 (人) 選択	2	(リ) 1 (人-24) 2 (人 25-) 1.2	後期
担当教員	研究室	電子メール ID		オフィスアワー	
坂本 宏史 他	D305	sakamoto		木曜日 10:00~12:40	
授業の目的・概要	理学療法・作業療法など医療の専門領域を学ぶための基礎として、人体の構造と機能に関する正確な知識と理解が必須である。解剖学Ⅱでは、中枢神経系(脳・脊髄)の構成および末梢神経(脳神経・自律神経)の構成を理解することを目的とする。さらに、これらの神経が支配する構造と機能とともに、神経系と関連が深い「感覚器系」の構造と機能を理解することを目的とする。講義では、①中枢神経系(脳・脊髄)、末梢神経系(脳神経・自律神経)の構築と解剖学的位置について、②それらの主な機能について説明する。③感覚器の構造と関連する神経の入力・出力について説明する。対面授業を基本に行うが、Microsoft Teams を使って資料の説明や、小テストを行う。さらに、学外で行われる「肉眼解剖学実習」を通して人体各器官の構造と位置関係を理解し、解剖学ⅠおよびⅡで学んできたことを復習し、深める。				
授業形式・方法	<input checked="" type="checkbox"/> 対面授業 <input type="checkbox"/> 遠隔授業(双方向型) <input type="checkbox"/> 遠隔授業(自主学習) <input checked="" type="checkbox"/> 講義 <input type="checkbox"/> 演習 <input type="checkbox"/> 実習 <input type="checkbox"/> 実技 <input type="checkbox"/> PBL <input type="checkbox"/> 反転授業 <input type="checkbox"/> ディスカッション・デベート <input type="checkbox"/> グループワーク <input type="checkbox"/> プレゼンテーション <input checked="" type="checkbox"/> 実習・フィールドワーク <input type="checkbox"/> その他 ( )				
学習上の助言	[事前・事後学習について] 毎回の講義の終わりに次回の内容について概要を説明するので、予習・復習を兼ねて解剖学の教科書と併せて生理学、運動学の教科書や講義資料にも目を通すことを勧める。				
教科書	電子教科書:標準理学療法学・作業療法学 専門基礎分野 解剖学 第5版/ 編:野村嶺 /医学書院 /2020				
参考書	解剖学講義 第3版/ 伊藤隆原著/ 南山堂 /2012 標準組織学 総論・標準組織学 各論/ 藤田尚男・藤田恒夫 /医学書院/ 2017				
外部教材	特になし				
学生が達成すべき行動目標				関連卒業認定・学位授与方針	
①	中枢神経系の構成および末梢神経(脊髄神経・脳神経・自律神経)の構成を説明できる。			HSU(1)、(2)、RH(2)、(5)	
②	各神経が支配する構造と機能を説明できる。			HSU(1)、(2)、RH(2)、(5)	
③	感覚器系の構造と機能を説明できる。			HSU(1)、(2)、RH(2)、(5)	
④					
⑤					
⑥					
授 業 計 画					
回	学習内容等		授業の方法	学習課題・学習時間(時間)	
1	神経総論: 神経系の基本的な構成について学ぶ。髄膜および脳室について学ぶ。	[担当] 坂本、志茂	講義	教科書 P.229-237 配布資料で予習・復習	3
2	中枢神経 1: 神経系の発生および脊髄の構造について学ぶ。	[担当] 坂本、志茂	講義	教科書 P.237-245 配布資料で予習・復習	4
3	中枢神経 2: 脳幹(延髄・橋・中脳)・小脳の構造および機能について学ぶ。	[担当] 坂本、志茂	講義	教科書 P.245-256 配布資料で予習・復習	4
4	中枢神経 3: 大脳・間脳の構造および機能について学ぶ。	[担当] 坂本、志茂	講義	教科書 P.256-267 配布資料で予習・復習	4
5	神経学総論・中枢神経のまとめ(小テスト) 末梢神経の概略: 末梢神経系の基本的な構成について学ぶ。	[担当] 坂本、志茂	講義	教科書 P.278-280 配布資料で予習・復習	3
6	脊髄神経 1: 頸部および上肢の神経について学ぶ。	[担当] 志茂、坂本	講義	教科書 P.280-289 配布資料で予習・復習	4
7	脊髄神経 2: 体幹および下肢の神経について学ぶ。	[担当] 志茂、坂本	講義	教科書 P.289-300 配布資料で予習・復習	4
8	脊髄神経のまとめ(小テスト) 脳神経 1: 脳神経Ⅰ~Ⅴについて学ぶ	[担当] 志茂、坂本	講義	教科書 P.300-305 配布資料で予習・復習	4
9	脳神経 2: 脳神経Ⅵ~ⅩIIについて学ぶ。	[担当] 志茂、坂本	講義	教科書 P.305-311 配布資料で予習・復習	4
10	自律神経: 自律神経系の構成や機能について学ぶ。	[担当] 志茂、坂本	講義	教科書 P.311-314 配布資料で予習・復習	4
11	脳神経および自律神経のまとめ(小テスト) 感覚器系 1: 外皮の基本構造および皮膚の感覚器について学ぶ。	[担当] 志茂、坂本	講義	教科書 P.319-323 配布資料で予習・復習	4
12	感覚器系 2: 視覚器(眼球・副眼器)の基本構造について学ぶ。	[担当] 志茂、坂本	講義	教科書 P.323-326 配布資料で予習・復習	4

【2025 年度/専門科目領域/専門基礎科目群/基礎医学系】

13	感覚器系 3: 平衡聴覚器 (外耳・中耳・内耳)、嗅覚器、味覚器の構造について学ぶ。	[担当] 坂本、志茂	講義	教科書 P.326-331 配布資料で予習・復習	4
14	神経路 (伝導路) について学ぶ。	[担当] 坂本、志茂	講義	教科書 P.268-277 配布資料で予習・復習	4
15	肉眼解剖学実習	[担当] 坂本、志茂、成	講義・実習	教科書、授業内で配布した資料・課題を確認、提出する。	6
試	期末試験 (感覚器・伝導路)				

達成度評価							
総合評価割合 (%)		試験	レポート	成果発表	ポートフォリオ	その他	合計
		100	0	0	0	0	100
総合力指標	知識・技術力	80	0	0	0	0	80
	思考・推論・創造する力	20	0	0	0	0	20
	協調性・リーダーシップ	0	0	0	0	0	0
	発表・表現伝達する力	0	0	0	0	0	0
	コミュニケーション力	0	0	0	0	0	0
	取組みの姿勢・意欲	0	0	0	0	0	0
	問題を発見・解決する力	0	0	0	0	0	0

評価のポイント			評価の実施方法と注意点	フィードバックの方法
評価方法	行動目標			
試験	①	✓	学期末に期末テスト (25%) ならびに授業内におこなう小テスト (3回 合計 75%) で評価する。主に教科書および授業内で配布する資料中のキーワードから出題する。	テストを採点后、Teams を利用して講評
	②	✓		
	③	✓		
	④			
	⑤			
	⑥			
レポート	①			
	②			
	③			
	④			
	⑤			
	⑥			
成果発表	①			
	②			
	③			
	④			
	⑤			
	⑥			
ポートフォリオ	①			
	②			
	③			
	④			
	⑤			
	⑥			
その他	①			
	②			
	③			
	④			
	⑤			
	⑥			

備考

他担当教員	志茂 聡、肉眼解剖学実習時には、成 昌燮も参加指導する。
教員の実務経験	担当する全教員は解剖学で博士号 (医学) を取得している。本学 (専任教員) で長年教育に携わってきた解剖学教育の専門家である。成は、中華人民共和国の医師 (外科) としての資格も有し、本学で病理学の授業も担当している。

【2025 年度/専門科目領域/専門基礎科目群/基礎医学系】

<p>実践的授業の内容</p>	<p>人体の構造に関わる項目の概念は、書物や視聴覚教材によってある程度理解することができるが、臨床時に応用できるまでの確固たる知識や具体的イメージの獲得は簡単ではない。この授業では、実際に人体解剖に長年携わってきた教員により、経験に基づく多角的視点から具体的な解説がなされるため、臨床家を志す受講者や人体解剖学に興味がある受講者にとって、分かりやすく現実に即した知識を得ることができる。これまでに学んだ知識の復習を兼ね、山梨大学医学部解剖学実習室で人体解剖見学実習を行う。</p>
<p>そ の 他</p>	<p>対面で行う授業中となるが、資料提示や質問・コメントの受付に一部オンライン（Teams）を利用する。また、授業内に予定している小テストは、Teams を利用するので、登校の際 PC やタブレット端末（必要に応じて電源コード）を持参すること。 今後の新型コロナウイルス感染症などの状況によって、シラバスが変更される可能性がある。 なお、「肉眼解剖学実習」は、山梨大学医学部解剖学実習室に於いて実施予定。詳細は、後日連絡する。</p>